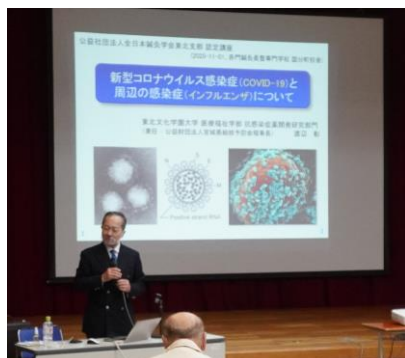


令和2年11月1日(日)宮城県仙台市の赤門鍼灸柔整専門学校 国分町校舎 講堂にて、東北支部A B講座が開催されました。感染防止の観点から、マスク着用の上、建物玄関にて手指消毒、受付の際には体温チェック、そして2メートルのソーシャルディスタンスを取った座席配置と、対策を講じて実施いたしました。暫くぶりの開催だったので、参加者同士距離をとりながら交流し、近況報告などに笑顔の花が咲いていました。



特別講演1「新型コロナウイルス感染症と周辺の感染症について」では、東北文化学園大学 医療福祉学部 抗感染症薬開発研究部門 特任教授(兼任公益財団法人 宮城県結核予防会 理事長) 渡辺 彰先生より、新型コロナウイルス感染症について、分かったこと・分かりつつあることを、海外との比較データをもとに丁寧に解説をしていただきました。その中で各国と比べ、日本の医療制度と治療体制が優れていることを深く知ることができました。一方、ワクチン開発まで予断を許さない感染予防について、これから流行が懸念されるインフルエンザにも触れながら、普段からの心がけで両方とも防止することができるだろうとのお話に、日常となった感染症対策の大切さをあらためて痛感いたしました。もっと多くの方に聴いていただきたいご講演でしたので、また別の機会をもうけて、渡辺先生にお越しいただきたいと思いました。

特別講演2「スポーツ鍼灸の基礎知識」特別講演3「スポーツ鍼灸治療の検査法と治療法」では、赤門鍼灸柔整専門学校 専任教員 亀井 啓先生より、ご講演と実技披露をしていただきました。全国女子大学駅伝の選手をはじめ、多くのアスリートの治療を手掛けていらっしゃる亀井先生より、状態把握に必要な知っておくべき検査法を中心に、紹介と解説をしていただきました。一般的だと思っていた検査法でも、時代とともに名称が違ったり、意義が変化したりしたものを一つ一つ確認し、理解しているものでも、その内容を深めることができました。途中には「はなし休め」を挟み、会場を和ませる亀井先生のお人柄も垣間見ることができました。実技では参加者の方をモデルとして筋肉や靭帯の走行を明示しながら治療アプローチについてお話し下さいました。局所だけを見るのではなく、全人的な医療を目指すという点で鍼灸が如何に有効であるかということを確認することができました。亀井先生、長時間ありがとうございました。



<お知らせ>

次回は2021年1月24日(日)福島県郡山市のビッグアイ 郡山市民交流プラザ 7Fにて、AM10:30より認定B講座を開催予定です。

また同時に、上記の本支部認定指定講座を リモート(オンライン) にても開催予定です。ZOOMにて会場から生(ライブ)配信となります。詳細やお申込みについてはホームページ(<http://tohoku.jsam.jp/>)にてお知らせいたします。なおリモート(オンライン)講座の定員は15名までといたしますので、ご了解のほどお願い申し上げます。